

平成31年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立加納小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童の学力向上に係る取組の改善を図っております。

今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。



<全国学力・学習状況調査の概要>

※「平成31年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

平成31年4月18日(木)

4 調査の内容

教科に関する調査 (国語、算数)	・小学校調査は、国語及び算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など	学校に対する調査 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
	【20分程度】	

桶川市の調査結果の概況



小学校

は全国平均正答率を上回ったもの

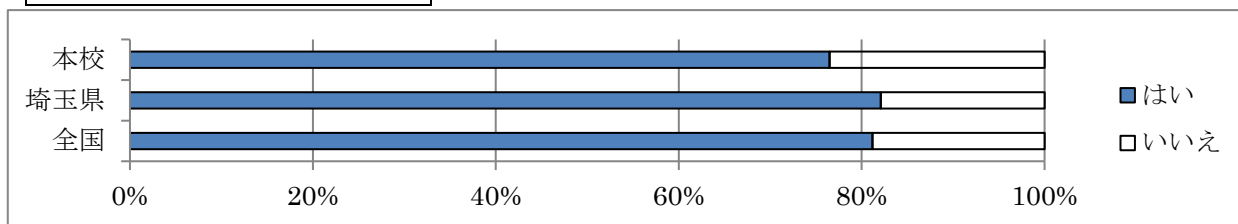
国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
話すこと・聞くこと	3	63.7	71.6	72.3
書くこと	3	39.7	52.9	54.5
読むこと	3	80.4	81.1	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	57.1	57.1	53.5

算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	7	52.3	62.5	63.2
量と測定	3	41.2	51.7	52.9
図形	2	70.6	75.4	76.7
数量関係	7	59.5	68.3	68.3

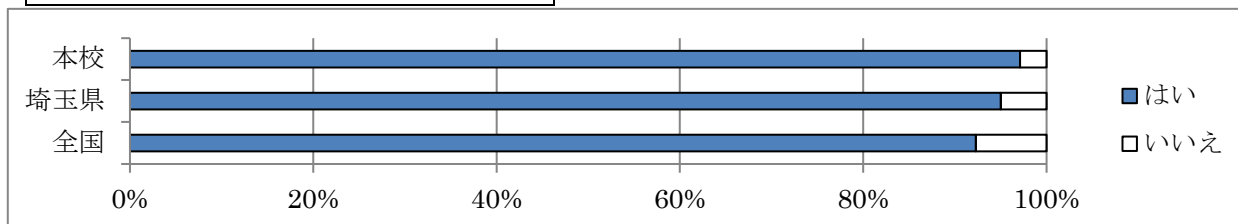
＜児童への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う
 いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

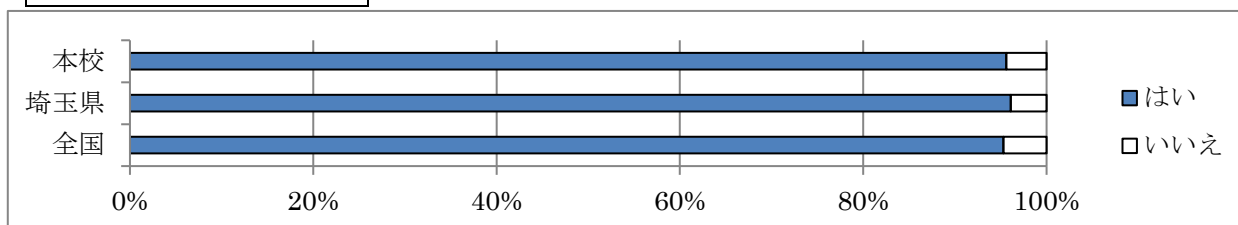
自分には良いところがある。



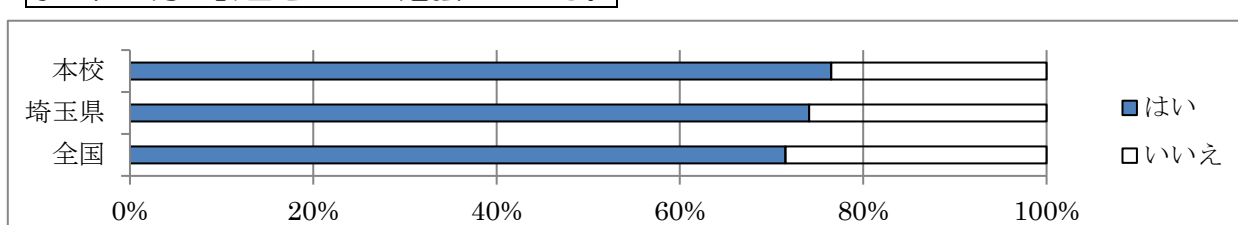
学校のきまり（規則）を守っている。



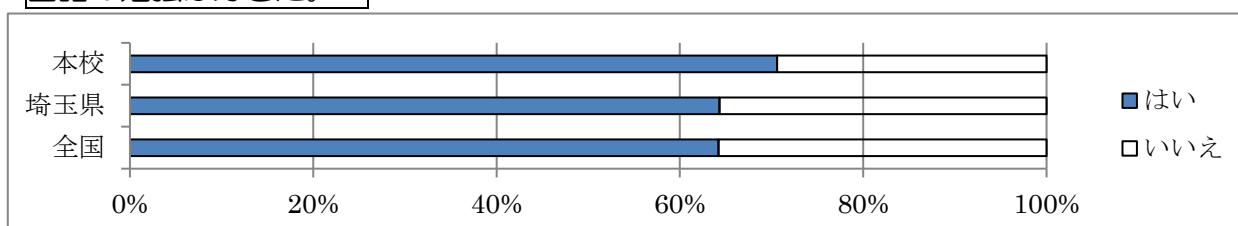
朝食を毎日食べている。



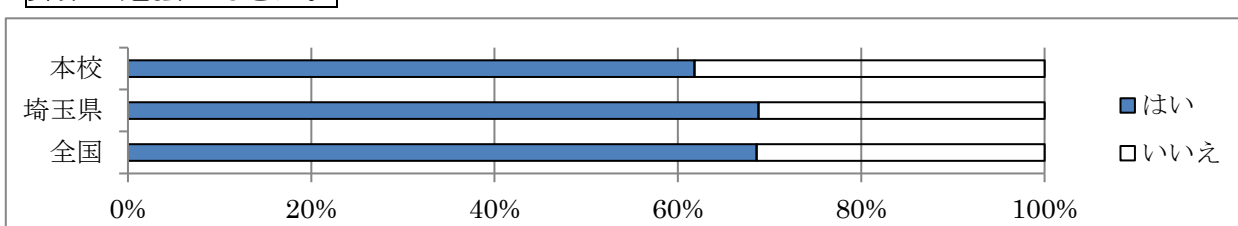
家で、自分で計画を立てて勉強している。



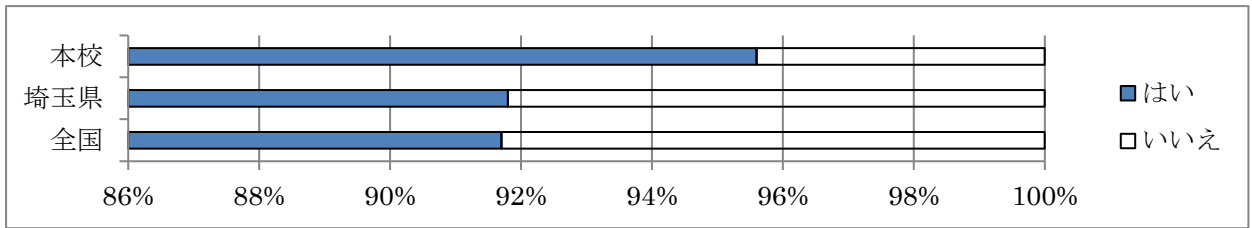
国語の勉強は好きだ。



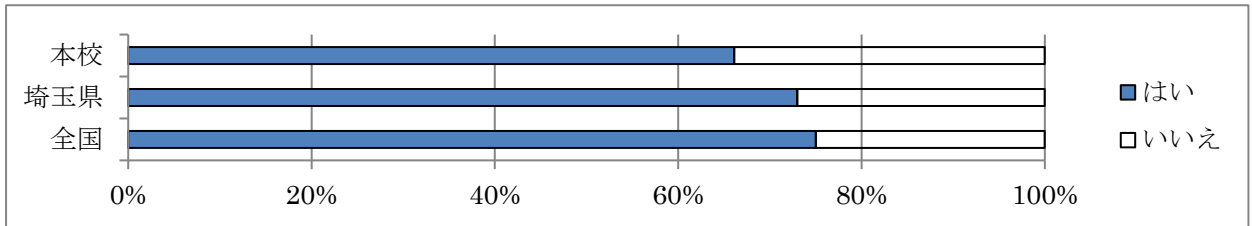
算数の勉強は好きだ。



先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。



読書は好きですか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

結果からわかること

- 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域は全国平均正答率を下回りました。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国平均正答率を上回りました。

分析

- ◆「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題があります。
- ◆「書くこと」では、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があります。
- ◆「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題があります。

【問題】

問題 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く。

正答 条件を満たして、書き表してあるもの。
(本校正答率 14.7% 無回答 10.3%)

【要因】

- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができなかった。

【改善策】

- ・事実と感想、意見などを区別し、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする活動を、学習の中に多く取り入れていく。
- ・文章の構成に合わせて、自分の考えの理由を明確にして書く指導を行う。
- ・原稿用紙等を活用し、与えられた字数の条件の中で書き表していけるよう、また、常体と敬体が混在しないよう支援する。
- ・「視写」の取組を継続し、文章の要旨をとらえる力を高めていく。

【問題】

問題 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す

正答 条件を満たして、書き表してあるもの。
(本校正答率 39.7% 無回答 13.2%)

【要因】

- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができなかった。

【改善策】

- ・文章を書く様々な機会を捉えて、文脈に沿った接続語の役割を理解させる。
- ・接続語を使って文章を分けて書く指導を繰り返して行っていく。
- ・書き直す前と後の文を比べ、接続語を使って複数の文に分けて書き直したことで、伝えたいことがより明確になったという実感を持たせる。

<算 数>

【領域別】

結果からわかること

- 「数と計算」、「量と測定」、「図形」「数量関係」の3領域は全国平均正答率を下回りました。

分析

- ◆「数と計算」では、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題があります。
- ◆「量と測定」では、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題があります。

- ◆「図形」では、図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することに課題があります。
- ◆「数量関係」では、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題があります。

<p>【問題】</p> <p>問題 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。</p> <p>正答 図形の面積を計算によって求める過程を書き表している。 (本校正答率 32.4% 無回答 7.4%)</p>	<p>【問題】</p> <p>問題 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く。</p> <p>正答 わる数とわられる数に、同じ数をかけたり同じ数でわったりしても、商は変わらないことを書き表している。 (本校正答率 14.7% 無回答 25.0%)</p>
<p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形と式とを関連付け、筋道を立てて考察し表現することができなかった。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の合成や分解など、図形の構成についての多角的な見方ができるよう支援する。 ・図形の面積を、既習の公式を活用して求められるよう、繰り返し取り組ませる。 ・面積の求め方について、説明し話し合う活動を多く取り入れる。 	<p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の仕方を解釈し、減法の場合をもとに、除法に関して成り立つ性質を表現することができなかった。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する数の範囲を広げていながら、計算に関して成り立つ性質を見出し、表現することができるようにする。 ・「わる数」「わられる数」「商」といった算数の用語を適切に用いた説明を繰り返し取り上げたり、表現させたりする機会を増やしていく。 ・自分の考えを話し伝える活動、書き伝える活動を多く取り入れ、思考力・表現力の向上を図る。

<質問紙調査から>

<p>【質問内容】</p> <p>先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 (本校正答率：95.6%)</p> <p><u>※全国を11.1ポイント上回る結果であった。</u></p> <p>本校では、個に応じた指導の充実を図るため、算数科の学習で、少人数指導・TT指導の実践をしている。学習單元ごとに学年と教務部が連携を図り、診断的評価（レディネステスト）の分析や、つまづきが多く見られる学習内容に対する教材研究などを適宜行っている。</p> <p>個に応じた指導の取組を今後も継続し、全体の学力向上につなげていきたい。</p>	<p>【質問内容】</p> <p>読書は好きですか。 (本校正答率：66.1%)</p> <p><u>※全国を8.9ポイント下回る結果であった。</u></p> <p>昨年度の質問紙調査からも浮き彫りになっている本校児童の課題である。学校図書館の蔵書の充実や、学校全体での読書カードや読書月間の取組など、児童が本を手に取り、読書が好きになるような実践を継続している。今後も、学校だけでなく、家庭とも協力しながら、児童が読書に親しめる環境づくりに力を入れていく必要がある。</p>
---	--

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「平成31年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

平成31年4月11日（木）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

桶川市の調査結果の概況

<小学校> は県平均正答率を上回ったもの

国語 教科の領域等	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
話すこと・聞くこと・書くこと	5	30.7	38.0	4	28.5	37.0	4	38.4	48.4
読むこと	4	52.2	61.5	9	43.9	49.8	9	61.4	65.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	55.2	60.2	17	54.4	57.2	17	59.9	63.5

算数 教科の領域等	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	12	69.8	71.7	12	74.5	74.0	12	63.1	67.7
量と測定	6	59.2	62.2	6	65.1	63.4	7	44.1	55.3
図形	6	60.6	68.4	6	54.1	61.9	7	52.7	56.9
数量関係	6	71.6	77.2	8	61.3	67.7	6	58.0	62.0

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段:本校の達成率、下段:県の達成率、 は80%以上

(%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	91.4 91.7	92.3 94.0	98.5 94.6	
	② 授業の開始時刻	89.7 92.9	92.3 94.3	100 95.2	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	89.7 84.8	86.2 86.0	92.5 88.9	
	④ 整理整頓	82.8 83.8	87.7 83.4	86.6 84.3	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
		⑤ あいさつ	74.1 81.4	84.6 80.2	85.1 80.8
⑥ 返事		86.2 90.7	92.3 88.5	97.0 88.4	
4 ていねいな言葉づかいを身に付ける					
⑦ ていねいな言葉づかい		82.8 87.4	90.8 86.6	95.5 88.0	
⑧ やさしい言葉づかい		77.6 85.1	84.6 83.9	89.6 83.9	
○約束やきまりを守ることができる		5 学習のきまりを守る			
		⑨ 学習準備	81.0 80.9	87.7 85.2	92.5 85.9
	⑩ 話を聞き発表する	79.3 81.3	73.8 75.4	82.1 74.5	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	82.8 85.2	84.6 85.3	94.0 85.8	
	⑫ 掃除・美化活動	82.8 91.1	87.7 89.5	91.0 87.7	

本校の学力向上の取組

授業における取組

☆1 個別指導の徹底

- (1) チームティーチングや少人数指導などを行い、個に応じたきめ細やかな指導をします。
- (2) 単元開始前に児童の理解度を確認します。
- (3) ワークシートを用いた単元ごとの習熟度の確認をします。

☆2 言語活動の充実

- (1) 全ての教科において、ペア、グループ、クラス全体といった様々な形態で意見交流する時間を確保します。
- (2) 教師が意図的に「理由」や「根拠」を問う発問をし、児童の思考を深めます。

■3 学習に対する態度の育成

- (1) 電子黒板などICT機器を活用した授業により、疑問や探究心を湧き立たせるような教材を取り入れて指導を行います。
- (2) 教員による評価だけでなく、児童自身による自己評価や、児童同士による相互評価を日常化します。

授業以外の取組

☆1 家庭学習の習慣化

- (1) 家庭学習（10分×学年）の定着を図ります。（1～3年生は30分）
- (2) 内容の精選、明確な指示、確実な点検を行います。
- (3) 家庭学習の成果を授業で生かしたり、発表したりする場面を設定して意欲を高めます。

■2 朝自習の見直し

- (1) 国語の課題を踏まえて、隔週月曜日を国語タイムとし、全校一斉に視写プリントに取り組みます。
- (2) 国語の課題を踏まえて、毎週水曜日を読書タイムとし、読み聞かせや一人読みをすることを通して、本に親しむ機会を作ります。
- (3) 算数の課題を踏まえて、隔週月曜日を算数タイムとし、継続的に計算プリントに取り組みます。

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組